



WORK VS KF#

9J×18+28 (9万1300円～) ～14J×21+28 (15万6200円～)

洗練かつゴージャスでありながらスポーツカーにも似合うデザイン。
2017年の廃盤以降、復刻の声が高かった「VS KF」が2025年に復活。
高みに引き上げられた性能とデザインで再びマーケットを刺激する

📞ワーク ☎06・6746・2859 <https://www.work-wheels.co.jp/>

細部まで磨き上げられ、進化した5本スポークの名作



シャープなラインとさまざまなキャラクターラインが複雑に絡み合うディスク面は思わず見惚れてしまうほどインパクトは抜群。高いデザイン性だけでなく、大容量のブレーキキャリパーが装着できるようにスポーク裏の形状も見直し。φ355程度なら楽々飲み込む。サンプルのピアスボルトは標準仕様だが、オプションカラーは多数用意。世界に1本のVS KF#を作ることも可能だ



ワイドボディキットを纏ったガレージアクティブのR32には12J×19インチをセット。旧車特有の深みのあるリムと複雑なラインが融合する現代風のエッセンスが見事に融和。赤のホイールキャップもいい塩梅

**新設計で進化と伝統が融合
プレミアムな佇まいが魅力**

「KING OF FIVE SPORKE」のサブネームを持ち、美しさと機能性を極めた3ピースホイールとして幅広いユーザーから圧倒的な人気を集めた「VS KF」。

2017年に惜しまれつつ廃盤となった名作が現代の設計・解析技術を使役し、強度、剛性、軽量化を含めて大幅アップグレード。新たな時代を象徴するホイールとなる思いを込め、音楽で半音上げることの意味する#を追加して復活を果たした。

深いリムを持つ重厚感ある5スポークの基本デザインは継承するが、フランジに向けて流麗で広がりのある伸びるスポークは筋を張らせ、エッジを利かせることでよりシャープさを強調。トップ面はデコルテのような優雅なラインで描かれ、立体的なスポークサイドと相まって、より優雅で美しいデザインに仕上がった。

また、最新の重量級パフォーマンスモデルへの装着も想定した設計が盛り込まれており、耐荷重は21インチで840kg、18～20インチまでは720kgまで対応。大容量のブレーキキットの組み込みを見越し、スポーク裏の形状も最適化している。

カラーはバファルマイトのリムとブリリアントシルバークラック&ライトグレイッシュシルバークラックが標準となるが、独自のカスタムオーダープランを選択すれば、ユーザーの好みに応じたさまざまなアレンジも楽しめる懐の深さもワークホイールの魅力のひとつといえる。

懐かしさを感じさせるデザインの中にも、現代のクルマにマッチする洗練さも兼ね備えた「VS KF#」は履きこなす魅力に溢れている。